

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 成田良治
幹事 鷲野義明
会報委員長 杉浦比佐夫
小山雅弘

No. 27

ロータリーを高めよ!
思いを尽くし熱意を尽くし!

1990~91年度 RI会長 パウロ V.C. コスタ

第417回例会 平成3年1月22日 (火) 晴

◇ “奉仕の理想”

◇ 出席報告

会員 67名 出席 54名
出席率 80.60%
前回 1月8日 (修正出席率) 98.46%

◇ ビジター紹介 12名

◇ お誕生日祝福

鈴木(正)君(1/16)、大矢君(1/17)
奥村夫人(1/21)

◇ ニコボックス

名古屋東RC 高見 敬一君
今年もお世話になります。
豊川RC 神谷 豊君、中村 正明君
地区大会のPRにまいりました。
多くの登録をよろしくお願い申し上げます。
西尾 正巳君 新春おめでとうございます。
人形作家 夢童 由里子先生です。よろしく。
水野 民也君 宮様チャリティーボウリング大会主催者としてTVによく出ていた、との事です。
今井 浩壹君 本日より入会させていただきます。今後どうぞよろしく。
小山 雅弘君 先日のゴルフ会、急用にて欠席しました。太田さん、上野さん、すみませんでした。
新美 敢君 ご無沙汰致しました。年賀状ありがとうございました。
太田 茂君 1/17 ゴルフ会で小杉さんに大変お世話になり、ありがとうございました。
石田 耕嗣君 先回のゴルフ会で家内が優勝しました。
大矢 佳正君、鈴木 正男君 誕生日祝い。

奥村 登喜朗君 夫人誕生日祝い。結婚記念日祝い。

◇ 鷲野幹事報告

1. 次回例会終了後、理事役員会を開催いたしますので、理事役員の方はお残り下さい。
2. 第260地区岡谷エコーRC(3/9)と、第276地区田原パシフィックRC(3/23)の認証状伝達式のご案内がきております。参加希望の方は、事務局までお申し込み下さい。

◇ 豊川RCより地区大会参加のお願い

今年度4月6日(土)、7日(日)、8日(月)にわたりホリディ・イン豊橋に於て第276地区大会を豊川RCのホストで開催いたします。
ロータリーらしい威厳と誠意に満ちた大会を行うよう準備をすすめております。どうか多くの皆様のご登録をお待ちしております。

◇ 新入会員紹介



氏名 今井 浩壹 君
生年月日 昭和21年2月18日
事業所 東海銀行 星ヶ丘支店
千種区星ヶ丘元町14-14
TEL 781-6326
地位 支店長
自宅 犬山市五郎丸新田組66

TEL 0568-61-2555

推薦者 水野 民也
職業分類 商業銀行
委員会 親睦活動

◇成田会長挨拶

先週の1月17日ついに湾岸戦争に突入しました。

おそらく政治的な意見を申し上げるなら、私は大変なまちがいを侵すことになります。それは会員の皆様もそれぞれの考え方もあろうかと思われるからです。それは、思想的な範疇の事だからであります。

今回の戦争に関しては、私の素朴な疑問を申し述べてみたいと思います。第2次大戦の苦しみを経験したものとしては、戦争の悲惨さをいやというほど知っています。人間の叡知で何故戦争が回避できなかったのか残念に思います。

フセイン大統領がクウェートから撤退する事にふみきったなら、ブッシュ大統領が戦争を選ばなかったら、又国連が何故武力行使を決議したのか！そのためにこの戦争でどれだけ多くの犠牲者が出るのか。世界が逆方向に進んでいることは人類にとっての不幸な出来事です。

願わくば1日も早い停戦の為に戦争によってではなく、話し合いによってブッシュもフセインもデクエールも、そして海部も歴史に残る働きをして欲しいと思う次第です。

今朝の新聞によると、多国籍軍の出撃延べ、7,000回、イラクがサウジに攻撃2波、ミサイル10発と見出しで大きく出ています。地球が破壊され、何等関係のない人々の命まで失う戦争決してあってはならないのです。広島原爆碑には“二度と繰り返しませんあやまちを！”と書かれています。

心から平和な世界を願うものであります。

◇講演

“尾張の千姫”

人形作家

夢童 由里子 さん（紹介 西尾君）



時は元禄。尾州三代綱誠の側室於福の方は「尾張の千姫」と称されていました。

尾張藩初代義直公の勤直、二代日光友公の英明さに比べ、三代綱誠公は無類の好色漢。その寝所に侍る女人は数知れずという。生を受けし子の数も解っているだけで実に40人。そんな色好みの殿様に奥女中として仕えることになった一人の娘。それが於福であった。城に上った於福は、持ち前の器量と色香で忽ちにして綱誠の目にとまり寵愛を受けることになる。正室新姫はさておいて多数の側室をしりめ一気に於福は綱誠を、自分の魅力の虜にしてしまいました。

元禄2年。於福に待望の男児（吉通）が誕生。しかし、それを期に綱誠は又もや、あちらの侍妾、こちらの奥女中と手を付けていきます。

元禄12年。22男18女という膨大な子の数を残して綱誠が逝くなり、尾張藩四代当主を11才になったばかりの於福の子、吉通が襲封し、本寿院となった於福は、当主の御生母様として権勢並びなきものとなり、女としての出世の頂点を極める事になりました。

綱誠が亡くなった時、於福は35才の女盛り、富も名誉も手に入れた彼女にとって、欠けているものは唯一つ。女として愛せる対象者がいなかったことである。

ある尾張藩士が趨庭雑話に、「それからの彼女の性の濁きは、あくことを知らず……」と記し、又、「……御付、御用達など、初めて江戸へ下りし者は時にふれ御湯殿へ召され、女中に命じ裸になし、〈おとこの大小〉をお知りになった。これが大きければおよろこびになり、おりおり交接し給う事があった」「こればかりではなく姪行多くあれども、余りに猥褻に至るので、さすがに口にしがたく云々」と、驚くべき秘話を書き記している。このように、「本寿院御乱行」は心が動けば、町人、役者、相撲取り、中間など身分や年令などかまわずに家来に命じ屋敷へ召し出し関係をもつというものでした。

宝永2年。この乱行をみかねた幕閣は尾張藩に対し断を下すようにせまった。そこで、藩主みずから手で母を処断することとなり、四谷の下屋敷に幽閉されたのであった。「本寿院殿、蟄居」。時に於福41才。女を失うには余りに早すぎる年令でした。

享保9年、江戸より国元尾張御下屋敷へ護送された彼女は60才。その約6年後、七代宗春の世になってやっと26年間の長きにわたる蟄居が解かれたのです。

スキャンダルと艶名を世に馳せ江戸市中を震撼させた希代の妖婦於福は、元文4年2月75才でその数奇で華麗な生涯を閉じました。

尾張の女性にしては希有なこの一輪の妖花も長い封建時代からみればいつきに咲いた徒花でしかなかったが、しかし、人間くさく、どこか憎めない部分をもった女性であったと思います。

250年前に、このように男を千人斬りにした女性がこの地味といわれる名古屋の地にいたということ、覚えていていただきたいと思います。（文責 小山）

◇次回例会（1月29日）

講演 “日本料理”

日本料理「加瀬」

加瀬 英比古 氏（紹介 菅原君）

◇次々回例会（2月5日）

節分会（松林寺にてPM6:00より）